



今井小だより

第3号
令和4年
5月31日
青梅市立今井小学校



今井小HP

運動会ありがとうございました

校長 神尾 健彦

5月26日(土)すばらしい天気の下、第44回運動会が実施できました。この日は、1人の欠席もなく、全校児童291名が参加することができました。保護者の皆様には、子供たちの体調管理や様々な準備をしていただき本当にありがとうございました。開会式で話をした、一人一人がすべてを出し尽くす力「全力」、みんなと合わせる力「協力」が存分に発揮された運動会でした。

1、2年生の「オハナのフラ」はリロ&スティッチの曲に合わせて、リズムに乗ってダンスすることができました。何度かある隊形移動もとても上手にできていました。みんなが身に付けていたカラフルなレイも、南国の雰囲気が感じられて、子供たちのすてきなダンスにまさに花を添えていました。1年生は4月に入学してからの成長がとても感じられ、2年生はしっかり1年生をリードしている姿がたのしかったです。



3、4年生の「今井小ソーラン」は、一つ一つの動きのきれに加えて、力強さも感じられました。始めの「かまえ」の腰の落としたそろった姿を見たとき、思わず感嘆の声を上げていました。その一瞬で、子供たちの気合が伝わってきました。一曲踊りきると、へとへとになるソーラン節を何度も練習を重ね、すばらしい演技に仕上げました。4年生は2年目ということもあり、一つ一つの動きに気を付けながら踊っていました。3年生もきっと来年度は下の学年の模範になるような動きをしようと感じていることでしょう。



5、6年生の「証～今井小フラッグ～」は、青空の下、気持ちの良い風にたなびく赤と青のフラッグがとても美しく、また仲間と心をつなげてタイミングをそろえた演技が見事でした。後半のフラッグを置いての一人技も、指先や足先にも気持ちを込めて演技していました。立ち姿や座り姿も一つの演技として成立していました。まさに「全力」と「協力」を体現した演技でした。個としての動きの美しさ、集団としての動きの美しさの両面を魅せてくれました。5、6年生は競技や演技以外にも係活動に意欲的に取り組みました。すばらしい運動会をしっかり支えていました。頼もしい高学年です。



多くの保護者の方に参観していただき、たくさんの声援や拍手をいただきました。子供たちも嬉しかったことでしょう。今後も学校はどのような状況でも今年度の運動会のスローガンのように「never give up～絶対あきらめない意志～」をもって子供に価値のある活動を工夫しながら実施いたします。今後ともご理解ご協力よろしく申し上げます。